

「親の学び」次世代編実践協力校 実践事例紹介

～長洲町立腹栄中学校での実践～



【玉名教育事務所】

自分の力を高めるために ～今の自分にできることは～



【講座の日程等】

実施日：令和3年7月14日（水）

場 所：長洲町立腹栄中学校 3年生教室

日 程：5校時、6校時 13:35～15:25

対 象：3年1組、3年2組（2学級） 69人

進行役：玉名教育事務所 社会教育主事 福田 功仁洋

【プログラムの実際】

①くまもと「親の学び」プログラム（次世代編）の説明

②アイスブレイク（画像を使用）

③サイコロトーク（3～4人グループで実施）

④ダイヤモンドランキング（ワークシートを使用）

「職場や地域社会で多様な人々と仕事をしていくために必要な力は何だと思いますか？」

- ・用意された16の必要とされる力の中から、自分が必要だと思うものを選び、個人でシートに記入
- ・作成したシートをもとに、グループで意見交換
- ・全体で共有するために、代表による発表

⑤まとめ

- ・中学3年生（受験生）としての現在を見つめる
- ・イチロー、大谷翔平から学ぶ



【生徒の感想】

自分の考えを発表したり、友達の意見を聞いて、共感したりすることができて良かったです。

今後の生活に役立てたいと思うようなことや今まで考えたことがないようなことを考えることができました。

自分が今後どうしていくべきかを考えることができました。社会で必要とされる力をいろいろな人から聞くことができ良かったです。これからは生かしていきたいです。



【参観者（学校職員）の感想】

○サイコロトークなど、生徒が意欲的に取り組むことができる活動が多く、とても参考になりました。

○生徒の目がいきいきとしており、級友の意見を聞きながら、「おー」や「なるほど」と反応している姿を見て、今まで知らなかった生徒の一面を見ることができました。

